

# オーストラリア学校交流プログラム アンケート 中学3年

## 1 St. Stephen's School について

(1)バディと共に出了授業の教科名と授業内容及び感想をすべて書いて下さい。

数学⇒・漢数字での計算……難しかった。クイズ形式で楽しかった。

- ・百ます計算……予想以上に出来て、みんなから誉められた
- ・一次関数……数学は日本と変わらないので解くことができた。

体育⇒・バレーボール(毎日朝2時間、という生徒あり)

- ・バドミントン……バディたちとチームワークを高められて楽しかった。
- ・バスケットボール

社会⇒・アボリジニについて

- ・SDGs、人口増加、フードセキュリティー、食糧不足について、食生活の変化について。  
……体験型の授業かつ虫のお菓子をたべるという初めての経験で楽しかった。
- ・みんなで先生の話聞いてから、各部屋に分かれてレポートまとめ。

理科⇒・ガラスの仕組みについて、鏡の反射について(万華鏡を作る)。

- ・音の響きや振動について……バディの子が丁寧に教えてくれた。あまり実験とかがないと感じた。  
理科の実験の仕方がユニークだと思った。

英語⇒・ひどい扱いを受けたシャチについてのドキュメンタリーを見た。

- ・海外版人生ゲーム。
- ・ビデオをみて書き取り。自分たちの学校にはないことなので新鮮で楽しかった。

美術⇒自分の顔を描いた。

演劇⇒・最初に生徒たちの即興劇を見て、そのあとゲームをした。

音楽⇒・作曲プリント……音を繋げるのが難しい。

技術⇒・ミニ自動車を作る……実際に自分たちがデザインした車の模型を作っていて本格的だった。

- ・ロケットの制作……ロケットの羽根の形を考えたり、設計図を書いたりした。
- ・エネルギーについて。

保健⇒・ケガの治療、応急処置について。

家庭⇒・子育てのための内容で、子どもに聞かせる歌を歌ったり、おもちゃを作ったりした。

- ・調理実習……①材料はみんな一緒だがレシピは自分たちで考えた。  
②コールスローサラダ、ポテト、お肉を焼いた。

宗教⇒・話を聞いてお祈りする

- ・キリストが何をしたかについてのビデオを見た。
- ・キリスト教の音楽について。

プログラミング⇒コマンドが英語だったけど慣れることができそう。

フィッシング⇒釣りの授業。ロットネスト島の多様性について。

ディベート⇒マーベルVSバットマン。結構白熱した戦いで見ていて楽しかった。

英語でディベートも面白いと思った。

### ◆全体的な感想等

- ・教科によって難易度が変わった印象。全体的に手を挙げる人が多く、スムーズに進んでいる。日本人でもわかるような授業もあり、やる気が上がって楽しかった。
- ・全体的に双方向で自発的な授業が多く、とても楽しくてビックリした。レポートなど、自分で自主的にすすめる課題が多かった。
- ・英語だからとても難しく感じた。現地の学生は1コマ1コマすごく集中して授業を受けていた。
- ・言葉がわからないと大変。でも、日本と内容は似ているからわからなくもなかった。
- ・すべてとても楽しかった。どの授業もカチカチしていない。
- ・海外はあまり授業感がない、ゲーム形式の授業が多く、毎日毎時間楽しかった。

## (2)皆で参加した授業(午後のアクティビティ)の内容と感想を書いて下さい。

### ◆ロッククライミング(ボルダリング)

- ・意外と難しくて、オーストラリアの子たちはみんなできてたからすごいと思った。
- ・高くて怖かったが貴重な体験だった。
- ・腕が疲れたけどとても楽しかった。終わった後、生徒が「良かったよ」とたくさん言ってくれた。
- ・生徒たちの助けを借りながらコミュニケーションが取れた。貴重な体験ができた。
- ・6つのルートをバディたちに手伝ってもらい上ることができた。初めての経験だったが楽しく、安全にできた。

### ◆美術

- ・手に絵の具を塗って国旗を作ったり、陶芸のようなことをした。英語での丁寧な説明がわかりやすく、とても楽しかった。
- ・デザインしたり、粘土で作ったりした。物を作るのは小学生以来で楽しかった。

### ◆ドラマ(演劇)

- ・フルーツバスケットや、ウイंकされたら倒れるゲームのようなもの。楽しかった。
- ・ドラマの授業をしたりUNOをしたり走ったり。ドラマで現地校の子と協力してできたので良かった。

### ◆料理(ベジマイトロール)。

- ・不思議な味がした。
- ・美味しかった。
- ・オーストラリアの食文化を体験できるのは良いと思った。

## (3)リセス 及び 昼食時の感想を書いて下さい。

### ◆会話、交流

- ・みんなフレンドリーでしゃべりやすかった。
- ・リセスや昼食のときはバディの友達とみんなで日本のことを話したり、お菓子を交換したりして交流ができて楽しかった。
- ・バディとその友達計8人くらいと食べた。リセスのときはお菓子を分け合ったりあげたりして食べた。何が好き?など、簡単な会話もした。
- ・翻訳機を使いながらではあったが、日本のことや授業の話をした。とても楽しかった。グミを交換したり日本のお菓子を食べたりして、文化や生活の違いを学べた。
- ・20人くらいで集まって食べた。意外と時間は短いので早めに食べるべき。
- ・バディの仲間たちとバスケットをしたり、たくさんの人たちと話しながらご飯を食べた。どちらもとても楽しかった。

### ◆食事、食べ方、場所

- ・リセスでは、果物(オレンジ、ラフランス、リンゴ)の丸かじりはとても新鮮でおいしかった。
- ・結構みんな自由に食べていた。外で食べるのは斬新だった。立ちながら食べているのが意外だった。
- ・ホストファミリーが持たせてくれたものや、購買で買ったものなどを食べたり飲んだりした。昼食はサンドイッチ+フルーツ(皮ごと)や、おやつなどが入っていた。とても美味しかった。
- ・附属中に入ってからずっと黙食なので、人と会話しながらご飯を食べられて楽しかった。

### ◆その他

- ・みんなで集まってゆっくりできる時間は日本の学校にはないので興味深かった。
- ・男女間でとても仲良く、壁がなかった。互いに話をしていたり、ちょっかいをだしたりしている光景は、日本ではあまり見なかったのが驚きだった。
- ・虫を捕まえている人がいて面白かった。

#### (4)バディについて及びバディから学んだことを書いて下さい。

##### ◆どんな話をしたか、どんなことをしたか

- ・学校の先生たちや、学校のこと
- ・日本は素晴らしいという印象を持たれていること
- ・日本のゲームやアニメをやっていたり見ていたりしていて、共通の話題があったので楽しく過ごせた。

##### ◆バディについての印象、バディから学んだこと

- ・みんな自主的に行動していて大人っぽかった。
- ・スピーチにも出場していて、会話もたくさんしてくれるカンペキな感じの人で、リーダーシップって大事だなと思った。
- ・3人のバディがいた。日本語を勉強してくれて、仲良くなろうと努力してくれた。言語の壁があったが、伝えようとするのが大切なんだと、とても実感した。
- ・バディはとても優しく、英語がわからなかったときでも優しく教えてくれた。どんな人にもやさしく、みんな同じように接することが大切だと思った。
- ・自分のバディだから教えてあげる！ という感じではなくて、みんなで助ける、一緒にやる！ という教え方が多くて、良いなと思った。
- ・しゃべるスピードは速かった。

#### (5)現地の学校生活から学んだこと及び日本の学校に導入したいことを書いて下さい。

##### ◆リセス

- ・リセス(代わりに他の休憩時間をなくす)。おなかやすかなくてよい。小学校のように長めの休みを取ることで次の時間に集中できる。
- ・リセスのように友達と話す時間をとってほしい。

##### ◆ルール

- ・自主性を大切にしていると感じた。自由度が高い。自由さ。自由だった。とにかく自由だった。
- ・最高学年がGジャンを着ること!
- ・マスクを外して、自由にご飯を食べたりできるのが良い。

##### ◆人間関係

- ・先生と生徒が平等で仲が良くうらやましかった。
- ・先生と仲が良いし、とにかく授業が面白かった。

##### ◆生徒の自主性

- ・生徒が自分から質問をしているところがすごいと思った。
- ・日本の学校と違って自主的に動く授業が多かった。日本にも取り入れてほしい。
- ・自分の好きなところに座れて、近くの人と授業のことを話していたのがよかった。

##### ◆その他

- ・授業時間フルでの授業は少なく、教員が説明したものについてレポートのまとめ、という方向の授業はとても興味があった。単位制も興味深かった。
- ・虫のお菓子を食べる授業のように、もっと体験型の授業を増やしてほしい。
- ・授業がオーストラリアみたいにあつとゆるっとできたら毎日楽しい。
- ・自力で授業を組んだりするのが大学みたいで楽しそうだと思った。一部の授業を選択式にしてほしい。
- ・ドラマ(演劇)の授業やディベート。
- ・イベントをグループにわけて実施すること。
- ・毎日身体を動かしたい。

## 2 ホストファミリーについて

### (1)週末に何をしたか具体的に書いて下さい。

#### ◆スポーツ、ゲーム、遊び

- ・ミニゴルフ      ・バドミントン      ・トランポリン      ・カーレース      ・公園で遊ぶ      ・一緒にゲーム
- ・チェス      ・ルービックキューブ      ・ホストブラザーのサッカーを見に行った。
- ・ゲームセンターで遊ぶ。日本にないゲームもあって新鮮で楽しかった。

#### ◆買い物

- ・シティでのショッピング(電車移動)      ・フリマントルやデパートでショッピング      ・スーパーマーケット      ・市場

#### ◆出かける

- ・ビーチで水遊び、夕焼けを見た、食事をした      ・日没を見に海に連れて行ってもらった
- ・キングスパークでパースの景色を一望した      ・有名なトンネルがあるところに連れて行ってくれた。
- ・ハイキングに行き滝を見たりした。      ・ピクニック
- ・礼拝      ・水族館      ・公園      ・犬と散歩      ・夜の散歩
- ・朝から散歩に行き、カフェで朝食      ・レストランへ行く      ・アイスクリーム巡り
- ・ご飯を食べに行き(ピザ、ハンブリージャックス、シンガポール、中華)

#### ◆家での食事

- ・日本食を一緒に作った。      ・ホストシスターと寿司作り      ・フィッシュアンドチップスを食べる
- ・ミートパイを食べた      ・バーベキュー      ・家でピザを焼いた

#### ◆他の家族、親戚と

- ・友達のホストファミリーと仲が良く、みんなで公園に行ったりした。
- ・ホストマザーの親戚の家で親戚の方々と話した。

### (2)ホストファミリーから学んだことを書いて下さい。

#### ◆ハッキリ話すこと、積極性、チャレンジすること

- ・わからないことははっきり聞いて、理解してコミュニケーションをとることが大切だと思った。
- ・「はい」か「いいえ」かハッキリすること。
- ・初対面の人には優しく、でも伝えたいことは伝えるべき。
- ・最初は自分からは話ができなかったが、一度話したらたくさん会話をすることができたので、積極的に話そうとすることは大切だと思った。
- ・エジプトの家系ながらも計十か国の人と交流することができ、とりあえず話そうとしてみる意思が大切だと学んだ。
- ・自分から積極的にいかないと、お手伝いができない!

#### ◆英語について

- ・自分の英語力に自信を持っていいということ
- ・言葉が違っていても意思疎通できる。
- ・文法が間違えていても、話が通じること。

#### ◆過ごし方、関わり方

- ・もっと家族を大事にすることが大切だと思った。
- ・初めて会った人とも今まで一緒にいたかのように明るく接するところ。
- ・初日から優しく接してくれて、とても嬉しかった。私も日本でホストファミリーをやってみたい。
- ・海外から来た人に親切に接すること      ・人や文化を大切にすること。      ・オープンな姿勢、フレンドリーさ

#### ◆文化、マナーなど

- ・オーストラリアでの礼儀やマナー、人に好かれる方法
- ・オーストラリアの習慣、物価、食文化、スポーツなど

### (3) オーストラリアの生活と日本の生活の違いを書いて下さい。

#### ◆家

・平屋が多い。大きい庭が多い。

#### ◆風呂・シャワー、洗濯

・シャワーは2,3日に1回(ホストファミリー)、あまり浴槽に入らない  
・風呂の時間が短い  
・洗濯は週一回

#### ◆生活全般

・部活がなく、帰る時間が早い。  
・早寝早起き。就寝時間が早い。10時くらいに寝て6時くらいに起きる。  
・日本よりもっと家族での交流を大切にしている。  
・よく出かけていた。

#### ◆食事

・主食(米、パン、麺)がない日もある。                      ・米を食べない                      ・朝食はシリアルか食パン。  
・基本ワンプレート。    ・ファーストフード店がポピュラー  
・宗教上の考えで豚肉を食べない

#### ◆社会

・日本に比べて物価が高かった                                      ・お客さんとお店の人の距離感  
・車の走る速度が日本の高速道路並みのスピード                      ・コロナの対応が違った                      ・ジェンダー

### (4) ホームステイ中の食事内容について書いて下さい。

・ハンバーガー、シリアル、パイ、ワッフル、タコス  
・ナチョス、ラザニア、ミートパイ、チキン、パン+フライドポテト、ピザ、ケーキ、ホットドック、ソーセージ  
・魚を全く食べない家だったから、肉、野菜、いもなどを多く食べていた。  
・甘いもの(お菓子やバー)が多かった。米がほとんどでない。パン系が多かった(トーストが美味しい)。  
・パイやタイ米、マック  
・ラム肉、鶏の丸焼き、マシュマロ焼き、カツカレー、フルーツ、味噌汁  
・いろいろな国の料理を作ったり、お店に行ってくれた。

#### ◆ワンプレート

・ワンプレートで肉やポテトなどのジャンクフードがたくさん載っている。サラダはほとんどない。すべて美味しかった。  
・ワンプレート形式。日本で食べる洋食のよう。

#### ◆ときどき日本食

・ホストマザーはよくパスタを作ってくれた。一回、日本のレトルトカレーを食べた。  
・ローストチキン、ステーキ、パスタ。味噌汁、チャーハンのような炒めご飯。  
・グリーンカレーやラザニア、ピザ、シートパイなど。美味しかった! 寿司も作った。

#### ◆辛いもの

・全体的に辛いものが多かった。鍋みたいなものを置いてよそって食べていく感じだった。  
・辛い食事が多く、同年代の子は「辛ラーメン」を食べていた。ポーク料理はなく、魚、鶏などが多かった。

#### ◆朝昼夕

・平日朝:シリアル、昼:サンドイッチ、夜:ピザ、ハンバーガー、ステーキ、タコス  
休日朝:パイ 昼:ハンバーガー、夜:ピザ、ハンバーガー  
・朝:シリアルやパン。昼:パンと果物、人参、パプリカ。夜:自分で好きなだけとって食べるワンプレートのラザニアやお肉など。  
・朝:シリアル、昼:サンドイッチ、夜:カレーやお肉

### 3 遠足について

#### (1)ピナクルズ観光の感想を書いて下さい。

##### ◆広さ

- ・めっちゃめっちゃ広くて、風が強かったけどきれいだった。日本にはあぁいったものがないのですごく面白かった。
- ・結構広くて迷子になりそうだった。日本では山とか海とかの自然にしか触れることがなく、砂漠みたいなどころに来るのが初めてだったのでいい経験になった。
- ・とても広くてきれいだった。とても奇妙な光景。
- ・雄大な景色に感動した。

##### ◆岩、砂漠

- ・岩が無数にあって、不思議な景色だった。砂漠が広くて走ってもずっと広がっていた。
- ・岩がどこまでも続いていた。いろいろな形の岩があって、見つけるのがとても面白かった。
- ・まだ下に埋まっているかもしれないというのが興味深かった。
- ・シャワーに降られたが、ピナクルがたくさん広がった黄色い砂漠は日本にはないので、携帯を投げて撮ったスローストリーモーションは思い出の一つになっている。
- ・砂漠みたいだった。人やサメのような形の岩があって面白かった。
- ・オレンジの砂がきれいだった。広くて目印になりそうなものもあまりなく、迷子になりそうだった。

##### ◆海(ハングオーバーベイ)

- ・海がきれいだった。ちょうど雨がやんでよかった。

#### (2)ロットネスト島観光の感想を書いて下さい。

##### ◆クオッカと自然

- ・クオッカがとてもかわいく、観光地になっっているながらも自然と共生できている環境はとても楽しかった。
- ・クオッカや自然を満喫できた。

##### ◆フェリー／海

- ・船で酔ってしまった。
- ・フェリーがジェットコースターみたいで楽しかった。
- ・海の透明度が高くてすごくきれいだった。日本では見られない景色だった。
- ・日本の海のような独特の臭いが無い。
- ・海の砂がとても白くて、海は青くてすごく透明で、とてもきれいだった。
- ・海辺でご飯を食べていると鳥が寄ってきて大変だった。

##### ◆自然全般

- ・自然が豊かでよかった。自然を守ることの大切さを感じた。
- ・トカゲが大きかったり、木が自ら倒れているのが日本と違うと思った。

##### ◆買い物

- ・アイスクリームやカフェの店が多く、リラックスできた。
- ・現地のお菓子やクオッカグッズ(ロットネスト島限定)が買えてよかった。
- ・いろいろお土産があるのでとてもよかった。

### 4 英語力について

#### 英語のコミュニケーション力や人に話しかける積極性は変わりましたか。

##### ◆積極的になった／恐れが減った

- ・オーストラリアの人々がとても気軽に話しかけてくれたので、とても積極的に英語を話せた。
- ・英語のコミュニケーションに対する考えが変わったと思う。心配していたよりも意思疎通ができて楽しかった。
- ・英語力は足りない。話したいという気持ちがあれば話せる。

- ・とても変わった。とにかくTryしてみる精神が大事だった。
- ・行く前より積極的に話しかけられるようになった。間違いを恐れなくなった。
- ・一回頭で言いたいことを整理してから、という点は変わらなかったが、積極的に話そうとチャレンジする精神は向上したと思う。
- ・以前よりも英語で話すことに対する恐怖心は少なくなったと思う。
- ・文章をつくれなくても単語を使ってできるだけ話すようになった。
- ・Yes/Noだけではなく、自分から質問に文で答えたり、たくさん話そうとすることができた。

#### ◆コミュニケーション力UP、意欲の向上

- ・変わった。日本にいるときよりも、言葉を伝えたいという気持ちが強くなった。恥ずかしさよりも、話したい!という気持ちの方が大きかった。また、頑張って伝わったときは、とても楽しかった。
- ・初めて会う人にもあいさつができるようになった。コミュニケーション力は高くなったと思う。
- ・自分の英語でもある程度伝わったので英語のコミュニケーション力に少し自信がついた。
- ・話せるかな?と思っても、想像以上に聞き取れない。一対一でないことがほとんどなので少し大変だった。名前を憶えて呼んであげると、良い雰囲気作りやすいと思った。悪口とか絶対に言わない。
- ・今までは話しかけられてもわからずに困っていたけど、これからは少しでも話していけるようにしたい。

#### ◆そんなに変わらない

- ・多少変わった気はするが、そこまで変わっていない。

## 5 小遣いとして、いくら位 使ったか教えて下さい。( お土産代は除く )

- ・0ドル
- ・2ドル
- ・15ドル~20ドルくらい(ゲーセン、飲み物、お菓子、ロットネスト島でのお昼など)
- ・30ドル~50ドルくらい(アイスクリームやカフェ代)
- ・150ドル弱
- ・300ドルくらい (※高い服を買ったので使った方だと思います、とのこと)

## 6 今回の経験を通して自分の考え方や態度に変化はありましたか。あれば具体的に書いて下さい。

あった(91%) 特になかった(9%)

#### ◆積極性、ハッキリ物を言う

- ・オーストラリアの飲食店やショップは店員さんの物言いがはっきりしていたので、うやむやにせず、こちらもしっかり言おうと思うようになった。
- ・日本人とは考え方が異なり、積極的に考えを言う姿を見て、自分もそうなりたと思った。察してもらうのはやめようと思った。
- ・英語がわからなかったとしても、積極的に話すようになった。
- ・積極的に人に話しかけたりできるようになった。
- ・男女間の付き合い方や応答の仕方など、はきはきと自分で伝えて考えることの重要性を学ぶことができた。

#### ◆英語について

- ・英語を勉強してもっと上手に話せるようになりたい。英語に興味を持つようになった。
- ・英語で話すときは頭の中に日本語を入れないことが大事だと思った。
- ・英語尽くして十日間ほど過ごして、言語の壁はあまりないなと思った。
- ・自分が使っているのはジャパニーズイングリッシュなんだな...と思った。もっとたくさん映画で英語を聞いたり、コミュニケーションをとったりしたい。
- ・文法も大切にしたいけど、やはり話そう、伝えようとする姿勢が大事だと思った。文法が完璧でないからと伝えるのをやめようとするのではなく、文法的に不安はあるけど自分の知識をフル活用して伝えようとするのが大切。
- ・英語の長文を読むことに抵抗がなくなった。

◆日本語、日本文化、異文化、視野の広がり

- ・お母さんと日本語のありがたみを感じた。
- ・日本語や日本人のありがたみを感じた。もう少し自国の文化を大切にしたいと思ったし、逆に海外の文化の違いなど、もっとわかりたいと思った。
- ・異文化に触れたことで、前よりいろいろなことを受け入れられるようになった。
- ・外国の文化を学ぶことができて、もっと人に正直になれたし、視野を広げることができた。
- ・国が違うから、考え方や会話の内容にも違いがあるのかと思っていたが、話してみたらすぐに仲良くなれることが分かった。
- ・客観的に日本を見ることができるようになった。

## 7 総合的に今回の研修に参加して良かったですか。その理由も書いて下さい。

良かった(100%)

◆価値観の広がり

- ・自分の世界が広がった。狭い視野から広い視野になって、自分自身がすごく変わった。
- ・とても良かった。世の中の見方が変わった。若いうちからこういう経験ができるのはほんとによかった。
- ・今まで日本から出たことがなかったので、海外から広い視点で日本を見ることができたり、オーストラリアに住んでいる人から見る日本はどのようなものなのか知れた。また、単純に日本以外の場所の生活を体験出来てとてもいい経験になった。
- ・いろいろな価値観や考え方があるが、多様性とはこういうことかと思った。私は日本も好きだが、今回みたいな環境での生活の方があっているかなと思った。
- ・世界にはまだまだ楽しいことがたくさんあると知った。たくさん友達も作れた。今すぐにでも戻りたい。

◆英語

- ・参加する前よりも、英語で話すことに対して、間違ってしまうことへの恐怖心が小さくなったと思う。実際に英語圏の国に行くことで、意外とまともでない英語でも通じることが分かった。また、今の自分に何の勉強が足りないかが分かった。実際に英語を使うことで、聞き取りや話すことで何が苦手かがハッキリした。
- ・良かった。現地で使われる英語を学べたし、話すことの楽しさを知ることができた。
- ・文化に触れ現地の人と触れ合い、英語のコミュカが向上できた。参加してよかった。
- ・良かった。初めて海外に行って、自分の英語の未熟さがわかった。海外の人と仲良くなれた。

## 8 来年度の参加者に伝えたいことや感想を書いて下さい。

◆英語、コミュニケーション

- ・不安より、楽しいという気持ちと積極性を絶対に持っていくべき。本当に楽しいよ!
- ・英語が苦手でも、楽しく、元気に接すれば、話は通じる。緊張しないで積極的に話そう。
- ・英語が喋れなくても楽しいし、何とかなのでチャレンジしてみてください。
- ・わからなくても伝える気持ちがあれば大丈夫!
- ・英語で話せるかわからないと思っていたけど、実際に行ってみるとたくさん話しかけてくれて自然と仲良くなれるのでとても楽しかった。参加できるチャンスはそんなにないと思うから行けて本当に良かった。

◆ハッキリ物を言おう

- ・最初は慣れないことが多いだろうけど、積極的に話したりすると楽しく過ごせると思います。自分が伝えたいことははっきり言う方がいいです。
- ・Yes, Noだけで答えたり、何を言っているかわからないときYesと適当に答えるのはやめた方がよいと思う。
- ・ホストファミリーやバディにはどんどん意思を伝えてください! また、たくさん刺激があるので構えていてください。いっぱい思い出を残してください。
- ・話したいことがあったら積極的に話そうとする気持ちを伝えることが大切です! もし難しいときは表情、ジェスチャー、または翻訳機を使ってもときにはいいと思います。そのうちにコミュカも上がって慣れてくると思うので、全力で楽しめると思います!



◆成長できる、何かが変わる

- ・私は親ともめてでもこの研修に参加してよかったと思っています。今の自分のレベルが良く分かったので、次するべきことがわかりました。また、異国の文化に触れたり、いろいろな人と話すことで人間的にも成長できたと思います。
- ・自分と向き合い、のびのびと生活ができる10日間だった。英語の勉強だけでなく、コミュニケーションへの関心や海外文化への理解が深まる時間だった。オーストラリアでホストファミリーや友達と出会えてよかったと思う。迷っている人は参加すべきだと念を押したい。
- ・学校での授業もまるで遊んでいるかのように楽しかった。一度海外に行くと何かが変わる。一回でいいから行くべき。

◆その他のTips

- ・ノートを一冊持って行って、名前や、聞いたことを書いてもらうとよいです!
- ・インスタグラムを入れておくとよいです! みんなLINE感覚で使っています。